

研修名	専門課程 大規模土砂災害緊急調査【ハイブリッド】(令和3年度～) (平成23～25年度:「大規模土砂災害緊急調査(前期)」、「大規模土砂災害緊急調査(後期)」(平成26～令和2年度「大規模土砂災害緊急調査(前期:初動期)」、「大規模土砂災害緊急調査(後期:継続監視期)」)					事務	技術
							○
目的・重点事項	土砂災害防止法が改正され、平成23年5月1日から高度な技術を要する土砂災害については、国が緊急調査を実施することになった。本研修は、初動期および継続監視期における調査等を実施するための砂防技術に関する高度な専門知識や計測・監視技術を修得させることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 大規模土砂災害対策に関する知識の修得 ② 国が行う緊急調査の調査内容、実施方法に関する講義、計測・監視技術の演習等を行い、関連する高度な技術の修得						
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局の技術系職員で、砂防事業に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 地方整備局本局課長補佐又はこれと同等の職にあると認められる者 ② 地方整備局事務所課長・出張所長又はこれらと同等の職にあると認められる者 ③ 地方整備局本局・事務所・出張所の係長又はこれらと同等の職にあると認められる者 ④ ①②③の者と同程度の能力を有すると認められる者						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	19	1				20	
研修期間	43.0時間 7日間			令和6年12月5日(木)～ 令和6年12月13日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(11.0) ①大規模土砂災害対策実施における現状と今後のあり方 ②土砂災害緊急調査と緊急情報、危機管理とマスコミ対応、緊急時に実施可能な地形計測技術について、気象情報の効果的な活用について、災害対応へのUAVの活用等 ③計測・監視技術及び演習、土石流氾濫シミュレーション実習 等 2. 討議(12.0) 緊急調査に関する班別討議・全体討議 3. 実習(18.0) 緊急調査における計測・監視技術、調査時の現地での安全確保に関する実習 4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス <div style="text-align: right;">計 43.0</div>						
前年度からの 主な変更点							
担当 国交大・本省	国交大:建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645) 本省:水管理・保全局 砂防部 砂防計画課						
備考	テキスト代(予定)30,000円 オンライン:12月5日～12月6日、集合:12月9日～12月13日						